



■複合施設事例

施設名（所在地）	施設機能	所在地概要	施設規模	管理者	備考
【境港市】	○市民会館		○延床面積：2,323m ² ○収容人数：1,300席（大ホール） ○利用者数：17,116人（ホール）（H25） 34,398人（会議室）（H25）		
	○図書館	○人口：約35,000人 ●上道町：約3,300人 ●夕日ヶ丘：約2,300人※1 ※1 自衛隊官舎含む	○床面積：547m ² （新館）、750m ² （別館） ○蔵書数：約15万冊（H20） ○開館時間：10～18時 ○休館日：月曜日、毎月末日、年末年始等 ○登録率：9%（H24.4.1現在） ○利用者数：70,322人（H25）		
武雄市図書館・歴史資料館 （佐賀県武雄市） 	○図書館、歴史資料館 ○カフェ ○書籍販売、映像音楽のレンタル	○人口：約52,000人 ○利用人数：920,000人（H25） ○観光動態：1,683千人（H23） ○沿革：H18年3月に1市2町が合併。温泉と陶芸の町として知られる。	○延床面積：3803.12m ² ○蔵書数：約20万冊（H24.3.31） ○開館時間：9～21時、年中無休 ○登録率：約54% ○特記事項：「Tカード」（CCCのポイントカード）を貸出しカードとして利用可能 ○付帯施設：珈琲店が併設	●カルチャ・コンピニエンス・クラブ（CCC） ●指定管理者に選定。	●H25年全面改装、CCCを指定管理者とした運営開始。 ●前例のない施設整備、運営手法に賛否両論がある。 ●事業費7.5億円のうち4.5億円を武雄市が出資（一般財源：1億7500万、合併特例債：2億7500万）。3億円はCCC出資。
きらめき広場・哲西 （岡山県新見市哲西町） 	○役場本庁舎 ○図書館（年中無休） ○生涯学習センター ●文化ホール（300席） ●研修室（大・小）、創作活動室、音楽室、和室 ○保健福祉センター ○内科診療所（医師2名、スタッフ7名） ○歯科診療所（医師1名、スタッフ2名） ○バスターミナル	○人口：約32,000人（新見市） ●哲西町人口：約3,000人 ●高齢化率：37%	○敷地面積：22,587m ² ○建築面積：6,021m ² ○図書館蔵書数：約78,000冊（H23.4.1） ○図書館貸出人数：約16,000人（H22） ○利用人数 ●文化ホール：約3,600人（H22） ●生涯学習センター：約5,700人（H22）（ホール除） ●保健福祉センター：約6,800人（H22） ●内科診療所：約10,300人（H22） ●歯科診療所：約3,600人（H22） ○付帯施設：道の駅鯉が窪	○医療機関：社会医療法人哲西会 ○その他施設：NPO法人きらめき広場	●行政、保健、医療機関等の複合施設で、災害時には防災センターとしても機能する。 ●事業費21億円のうち18億円を地方債で手当。 ●住民アンケート結果を踏まえて、2年数ヶ月60数回を数える住民を巻き込んだ設計協議を実施。
道の駅 飛騨金山ぬく森の里温泉 （岐阜県下呂市） 	○直売所「朝取横丁」 ○宿泊施設「かれん」（客室8室、レストラン、温泉） ○スポーツセンター（25m ² ホール、スタジオ、アリーナ（1,418m ² 、収納式ステージ）、トレーニングルーム、スタジオ、多目的ルーム（98畳敷道場、卓球台4台） ○野球場（夜間照明設備、観客席、電光掲示板） ○福祉センター（温泉、大広間、研修室、ミニ図書館、レストラン） ○保健センター（診療室、リハビリ室、指導室、会議室、相談室、調理室、和室）	○人口：約34,000人 ○高齢化率：33%	○立地面積：56,000m ² ○営業時間：8～20時 ○定休日：第3木曜 ○利用人数 ●道の駅：約114,000人（H24） ●スポーツセンター：約87,000人（H22） ●野球場：約6,500人（H22）	●株式会社かれん	

■複合施設事例

施設名（所在地）	施設機能	所在地概要	施設規模	管理者	備考
長良川岐阜河川防災ステーション （岐阜県岐阜市） 	○水防活動拠点機能 ○復旧活動拠点機能 <以下は平常時の機能> ○地域防災学習施設 ○情報発信機能 ○河川を中心とした文化活動 ○健康づくりの拠点機能	○人口：約41万人 ○長良川（木曾川水系）はS51年に洪水で堤防が決壊、甚大な被害が発生。近年もH2年、H11年、H16年に洪水発生。 ○流域には人口も多く、洪水被害を最小限に抑えるために整備	※現在整備中のため、詳細は不明		
揖斐川大垣河川防災ステーション （岐阜県大垣市） 	○水防活動拠点機能 ○緊急用資材備蓄機能 ○ヘリコプター発着場 ○排水ポンプ車・照明車配備 <以下は平常時の機能> ○地域防災学習施設 ○河川を中心とした文化活動	○人口：約16万人 ○大垣市は揖斐川、長良川をはじめとする多くの河川が流れる水郷地帯で、ほぼ全域が海拔3~6メートルの低地	○床面積：480.14m ² ○会議室等も備えて、緊急時の防災活動司令室としても使用可能 ○会議室：60名使用可能 ○水防資材：土のう袋2,000袋など ○防災資材：投光機4機、エンジンカッター3台など	大垣市	●平常時の施設利用は、防災活動組織または河川環境の保全活動等に従事している団体のみ
御殿場市民交流センターふじざくら （静岡県御殿場市） 	【2階】 ○会議室（40人・75m ² ×2室） （10人・37m ² ×1室） ○研修室（36人・95m ² 、20人・76m ² 、32人・75m ² ） ○調理室（36人・100m ² ） ○大広間（120人・205m ² ） 【1階】 ○交流ホール（300人、339m ² ） ○会議室（25人・47m ² ×2室） ○展示コーナー（61m ² ） ○廊下展示スペース（22m ² ） ○子ども家庭センター（プレールーム、遊戯体育室、子ども図書コーナー、児童クラブ室） 【地下1階】 ○デイサービス室	○人口：約88,000人 ○東富士演習場の他、3つの駐屯地、米軍施設を有し、演習場や自衛隊との関わりが非常に強い地域 ○防衛補助事業を活用した「防衛施設の存在を活用した地域振興計画（略）」として交流センターを整備	○敷地面積：1,804,294m ² ○延床面積：地下階：1,177.65m ² 1階：3,624.88m ² 2階：1,428.56m ² ○駐車場：来客用153台（内身障者用6） ○駐輪場：3箇所 計91台		●御殿場市民活動センターが入居しており、市内NPO法人やボランティアグループ等の利活用を進めている
門真市生涯学習複合施設（大阪府門真市） 	【基本コンセプト】 ●地域とともにコミュニティを育む文化・学習の交流拠点 【施設機能】 ○図書館部門 ○文化会館部門 ○付帯部門 ○管理・サービス部門	○人口：約13万人 ○S38年、市政施行 ○計画検討の経過 ●H24年度基本構想（基本コンセプト、整備方針等）策定 ↓ ●市民アンケート調査実施 ↓ ●基本計画検討	【施設構成（モデル） 計6,000m ² 】 ○図書館面積：3,500m ² ●蔵書35万冊を目標として設定 ○文化会館面積：1,100m ² ●100~150人程度収容可能なホール2室 ○付帯面積：580m ² ●飲食スペース、交流スペース設置 ○管理・サービス面積：820m ² ●防災機能の付加（帰宅困難者の受け入れ）		

■その他事例

施設名（所在地）	施設機能	所在地概要	施設規模	管理者	備考
<p>まちとしょテラソ （長野県小布施町）</p>  	<p>○図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4つの柱による「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」として整備。 ①学びの場 ②子育ての話 ③交流の場 ④情報発信の場 	<p>○人口：約11,000人</p> <p>○利用人数：約7,300人（H25）</p> <p>○年間120万人が訪れる町</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北斎と栗の町 ・歴史と文化の町 ● 花の町 <p>○沿革：S29に町制施行に伴い現在の小布施町に。</p>	<p>○延床面積：998.53m²</p> <p>○蔵書数：約9万冊</p> <p>○開館時間：9～20時</p> <p>○休館日：火曜日、月末、年末年始ほか</p> <p>○登録者数：約7,300人</p> <p>○特記事項：おぶせまちじゅう図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 近隣の店舗施設等で本を自由に閲覧できるようにして、住民と観光客あるいは住民同士のコミュニケーションを促進し、地域内の周遊も促進する取り組み。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館を中核としたまちづくりの事例